

TOM'S SPIRIT

スーパー耐久シリーズ 2019
富士スピードウェイ
2019年5月31日(金)

予選

天候:曇り 路面:ドライ



昨年に引き続き、スーパー耐久シリーズ第3戦は、富士スピードウェイにて、24時間レースが開催された。

- TOM'S SPIRITは、スーパーGTでの松井選手のチームメイトである佐藤公哉選手をDドライバーとして迎え、昨年同様、4名のドライバーで24時間を戦う。
- 24時間大会ではA～Fドライバー6名までの登録が許されているが、A、Bドライバーの合算タイムで順位が決まる事に変更はない。
- A・Bドライバー共にトップタイムを出し、開幕戦から3戦連続でのポールポジションとなり、貴重な1ポイントを獲得した。

ドライバー	車番	クラス順位	ベストタイム
坪井 翔	86	1位	1'56.471
中山雄一			1'57.413
松井孝允			1'58.556
佐藤公哉			1'59.221

気温	20.6°C	※Aドライバー予選スタート時
路面温度	29.5°C	



坪井 翔【Aドライバー】

まずはポールを取れて良かったです。A・Bドライバー共にトップタイムだったので、満足のいく予選でした。ここ2戦ポールスタートから悔しい思いをしているので、今回こそ去年のリベンジで24時間しっかり走り切って勝ちます！

中山雄一【Bドライバー】

Aドライバー予選での坪井選手の攻撃で、1秒の差を2番手に対しつけていたので、自分の攻撃はリラックスして臨む事ができました。今シーズンのポールポジション記録を伸ばす事が嬉しいです。松井選手と佐藤選手の予選では、決勝に向けてのセットアップも進んだので、優勝へ向けての準備はばっちりです！

松井孝允【Cドライバー】

坪井選手、中山選手の素晴らしい攻撃によりポールポジションを獲得する事ができました。僕の予選では、ロングランのバランス確認で走り、バランスも良く乗りやすいので、24時間の決勝が楽しみです。

佐藤公哉【Dドライバー】

坪井選手、中山選手のお陰でポールを獲得する事ができました。自分の予選では、松井選手に続きロングランでの車のバランスを確認しながら、自分のドライビングの方も他3人のデータを見てトライしながら走りました。良い方向へ行っているなので、決勝はしっかりとチームに貢献したいです。

三塚 隆【チーム代表/監督】

A、Bドライバー共にトップタイムで、ポールポジションを取る事ができました。Bドライバー予選の時には、気温、路温が変化し上手くアジャストできず、車のパフォーマンスを100%出せませんでした。ドライバーが頑張ってくれました。C・Dドライバーには、レースを想定した確認走行を行ってもらいました。

TOM'S SPIRIT

スーパー耐久シリーズ 2019
富士スピードウェイ
2019年6月1日(土)～2日(日)

決勝

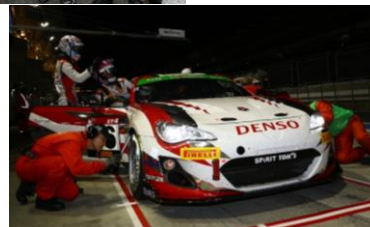
天候:曇り 路面:ドライ



- 1日(土)13時20分からのスタート進行が始まり、1時間のグリッドウォークを挟み、15時から24時間レースのスタートが切られた。
- 今年は24時間レース中、スタートから20時間以内に10分間のメンテナンスタイムが1回義務付けられている。
- 坪井選手のスタート直後から884号車と310号車との3台でスプリントレースのような激しいバトルが繰り広げられ、順位が目まぐるしく入れ替わる。
- 2時間を少し程経過した61周目にトップ3台の中では最後にピットイン。給油と中山選手へのドライバー交代のみでピットアウトするとトップでコースに復帰する。
- その後、約2時間強でのピットストップを7回、朝7時前の8回目のピットストップ時に10分間のメンテナンスタイムを消化し、順調に2位以下を周回遅れにしていく。
- ドライバーが車を労わり、燃費走行をしながらも安定したラップタイムを刻み、メカニックの完璧なピット作業、FCY導入のタイミングなど様々な要因で今回の24時間レースを制する事ができ、昨年の雪辱を晴らす結果となった。

ドライバー	車番	クラス順位	ベストタイム
坪井 翔	86	1位	1'59.455
中山雄一			1'59.695
松井孝允			1'59.391
佐藤公哉			2'00.616

気温	23.5°C	※決勝グリッド
路面温度	37.7°C	



坪井 翔【Aドライバー】

スタートドライバーを担当し、役目として24時間の流れを作れたので、個人的には良いステイメントとなりました。そこからも全員がミスなく、トラブルなく、確実にレースを進める事ができました。昨年のリベンジを果たせし、24時間レースで勝つ感動を味わえて良かったです。

中山雄一【Bドライバー】

昨年の雪辱を晴らす事ができ、とても嬉しいです！今シーズンはトラブルが続いていたなか、24時間を走り切れるマシンをメンテして頂いたチームに感謝しています。昨年の24時間レースでの課題を全て克服しての勝利ですので、チーム全員の自信になった優勝だと思います。

松井孝允【Cドライバー】

決勝はとにかくトラブルなく、ミスなく行く事が優勝に繋がると思っていたので、チームとドライバー全員がミスなく車を労わりながらレースを進められた事が優勝に繋がったと思います。ポイントも大量に獲得し、チャンピオン争いにも加われそうなので、最後までチャンピオン目指して戦います。沢山の応援ありがとうございました。

佐藤公哉【Dドライバー】

ポールポジションスタートから順調にスタートを切り、ドライバーもノーミスで、車両もノートラブルで、大差をつけて優勝する事ができて嬉しいです。車両を労わりながらもマージンを築いてバトンを渡してくれた坪井選手、中山選手、松井選手、完璧な車両を用意してくれたチームに感謝です。今回初めてST-4クラスの86でレースをさせて頂き、自分の方でも走り色々を試したりと、非常に勉強と刺激になった24時間レースになりました。

三塚 隆【チーム代表/監督】

ドライバー、メカニック、スタッフ全員が集中力を切らさず、心一つになり、ミスなく24時間戦えた結果だと思います。皆、良くやってくれました。また、応援頂いた方々やスポンサーさんにも感謝します。ありがとうございました。令和になり、風がこちらに吹いてきました。次戦もこの流れのまま連勝できるよう頑張ります。